

うちどく with 中学生 家読@とちぎ

家族で
本の世界を
楽しませよう

家読って？

本を読んで感想を話し合ったり、好きな本をすすめたり、家族や身近な人と読書習慣を共有する取り組みです。さあ、一緒にはじめましょう。

感想を話そう

おすすめの1冊を
紹介しよう

保護者のみなさんへ

中学生のうちからたくさん
の本にふれることは、豊かな
感性と表現力を育むことにつ
な갑니다。
また、本を話題にすることで、
家族の会話が広がり、「この子、
こんなこと考えてたんだ」と
いう新しい発見もあるかもし
れません。
忙しい日常の中でちょっと
ひと息、本の時間をつくって
みませんか。

うちどく
家読にむずかしいきまりはありません
我が家の“家読”スタイルを作ろう！

ほかにもたくさんのおすすめの本や、本の内容に関するクイズが県のHPにのっています。こちらも見てください。

栃木県 家読のすすめ

検索

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m06/tosyokandokusyo/utidoku/utidoku.html>

栃木県教育委員会事務局生涯学習課

R70

当組合が70%再生紙を使用しています

家族のカタチ

このリストは、栃木県内の中学生を対象に行った「家族にも読んでもらいたいおすすめの本」のアンケート結果を参考に、中学生はもちろん大人にもおすすめの本をのせています。
みんなで「うちどく」始めましょう。

ハッピーバースデー



(青木和雄、吉富多美/作金の星社)

心にじんわりきて、とても泣ける本。家族とは、愛情とは、と考えさせてくれます。

(★★★★☆)

佐賀のがばいばあちゃん



(島田洋七/著 徳間書店)

昭和30年代、佐賀のがばいばあちゃんとの貧乏生活。現代の私達には「えっ」と思うことばかりだけど、一気に引き込まれます。

(★★★★☆)

博士の愛した数式



(小川洋子/著 新潮社)

記憶が80分しかもたない博士の家に来た家政婦とその息子。刻一刻と何かを忘れていく博士と、彼を精一杯支えていく二人を描く温かい物語。

(★★★★☆)

※ ★について

★が多いほど読みごたえのある作品です。どんどんチャレンジしてみましょう。

挑む

心を整える



(長谷部誠/著 幻冬舎)

心は鍛えるものではなく、整えるもの。日本代表キャプテンとして、チームを勝利へ導いた男の実践的メンタルコントロール術。

(★★★★☆)

楽隊のうさぎ



(中沢けい/著 新潮社)

引っ込み思案の中学生・克久は、バンドで生き生きとした自分を取り戻す。先輩や友人に囲まれ、全国大会を目指す…。

(★★★★☆)

風が強く吹いている



(三浦しをん/著 新潮社)

走ることを愛しながら走ることから見放されかけていた二人。奇跡のような出会いから、陸上とかけ離れていた者と無謀にも箱根駅伝に挑む。

(★★★★☆)

もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら



(岩崎夏海/著 ダイヤモンド社)

わかりやすくドラッカーが理解でき、おもしろい。自分もみなみになってマネジメントしたくなります。

(★★★★☆)

フリーター、家を買う



(有川浩/著 幻冬舎)

夢なし、貯金なし、甲斐性なしのへなちょこ25歳が母の病を機に立ち上がる！

(★★★★☆)

下町ロケット



(池井戸潤/著 小学館)

町工場が取得した最先端特許をめぐる、中小企業 vs 大企業の熱い戦い！

(★★★★☆)

ビブリア古書堂の事件手帖



(三上延/著 アスキー・メディアワークス)

極度の人見知りの古書店主。鋭い洞察力で古書にまつわる謎と秘密に挑む

(★★★★☆)

精霊の守り人



(上橋菜穂子/著 偕成社)

女用心棒バルサと皇子チャグムの物語。今までにないスリルと冒険がこの物語で楽しめる。

(★★★★☆)

じんわり泣ける物語

きよしこ



(重松清／著 新潮社)

上手に話することができない少年の“ことばにできない思い”が主人公の成長と共に語られる。何度読んでも感動する本。

(★★☆☆☆)

神様のカルテ



(夏川草介／著 小学館)

町外れの病院で働く青年を描いた心温まる物語。命の大切さ、死の悲しさが伝わってくる。

(★★☆☆☆)

のぼうの城



(和田竜／著 小学館)

天下統一を目指す秀吉の軍勢が唯一、落とせなかった武州・忍城。農作業もろくにできない「でくのぼう」の「のぼう様」が大軍勢に挑む！

(★★★★☆)

坂の上の雲

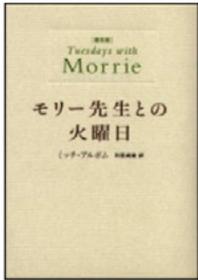


(司馬遼太郎／著 文藝春秋)

明治維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。どんどん物語に引き込まれる。

(★★★★★)

モリー先生との火曜日



(ミッチ・アルボム／著 別宮貞徳／訳 NHK出版)

大学時代の恩師モリー先生は、難病で動かなくなった体で人と触れ合うことを楽しんでいて。死の床での16年ぶりの授業は…。

(★★★★☆)

赤めだか



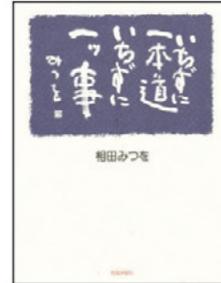
(立川談春／著 扶桑社)

サラリーマンより楽だと思った。とんでもない、誤算だった。落語家前座生活を綴った破天荒な名随筆。

(★★☆☆☆)

生き方いろいろ

いちずに一本道 いちずに一ツ事



(相田みつを／著 佼成出版社)

「にんげんだもの」で有名な本県出身の書家相田みつを。その唯一の自伝エッセイ。

(★★☆☆☆)

かぎりなくやさしい花々



(星野富弘／著 偕成社)

不慮の事故で手足の自由失った著者。しかし闘病生活の中で、わずかに動く口に筆をくわえて、一筆一筆、詩や絵をかきはじめた。

(★★☆☆☆)

地球と宇宙を考える

星空を見上げて365日



(藤井旭／著 誠文堂新光社)

一日一話。その日見える星の話が楽しめます。たまには夜空を見上げてみませんか。

(★★☆☆☆)

ホーキング、宇宙と人間を語る



(スティーヴン・ホーキング 著 佐藤勝彦／訳 エクスナレッジ)

物理学者、スティーヴン・ホーキング博士が、人類が探求してきた宇宙と人類の起源、歴史、そしてその存在の意味するところをときほぐす。

(★★★★☆)

あなたが世界を変える日



(セヴァン・カリス・スズキ／著 ナマケモノ倶楽部／編訳 学陽書房)

「どうやって直すのかわからないものを、こわしつづけるのはもうやめてください」12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ！

(★★☆☆☆)

私たちの選択

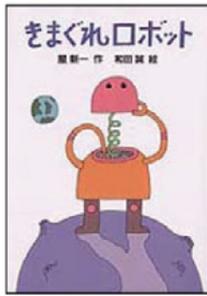


(アル・ゴア／著 枝広淳子／訳 武田ランダムハウスジャパン)

私たちはいま何をすべきなのか？温暖化を解決するための18章

(★★★★★)

きまぐれロボット



(星新一／著
理論社)

すこし現実離れた物語が
おもしろい。1冊の中に
色々な作品が入った短編集
なので、朝読にもおすすめ。
(★☆☆☆☆)

チョコレート工場の秘密



(ロアルド・ダール／著
柳瀬尚紀／訳 評論社)

働く人の姿をだれも見た事
がない、謎につつまれた
チョコレート工場。そこに
招待された5人の子ども達
が見たものは…。
(★☆☆☆☆)

モモ



(ミヒヤエル・エンデ／著
大島かおり／訳
岩波書店)

不思議すぎる主人公と登場
人物にわくわくさせられ
る。不思議な世界におおい
に引き込まれるとても楽し
い作品。
(★★★★☆)

語り部に聞く
下野民話の旅



(下野新聞社)

今に残る栃木県内各地の民
話や伝説を語り部に聞く。
ふるさとの文化を後の世代
まで受け継いでいきたい。
(★☆☆☆☆)

知っていますか？話してみよう

日本人の知らない日本語



(蛇蔵／著 海野凧子／著
メディアファクトリー)

日本語学校の先生と外国人
学生が繰り広げる爆笑日本
語バトル。日本人も知らな
かった日本語の一面を教え
てくれます。
(★☆☆☆☆)

地震イツモノート



(地震イツモプロジェクト／編
寄藤 文平／画 木楽舎)

この先も、きっとつきあっ
ていかないといけない地
震。モシモのときのために、
イツモ考えておきましょ
う。
(★☆☆☆☆)

正しいパンツのたたみ方



(南野忠晴／著 岩波書店)

生きることを存分に楽しむ
ために生活力は必須！その
ために必要なこと、考
えてみませんか？パンツのた
たみ方いろいろも分ります。
(★☆☆☆☆)

一〇〇年前の女の子

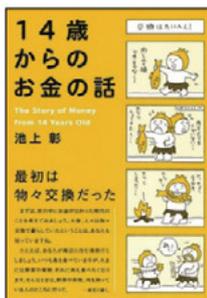


(船曳由美／著 講談社)

明治42年、栃木県足利の小
さな村に生まれた寺崎テイ。
100年前の女の子が何を
感じ、何を学び、いかに生
きていったかを描く物語。
(★★★★☆)

今だからこそ読みたい本

14歳からのお金の話



(池上彰／著
マガジンハウス)

お金はなぜお金として使え
るの？世の中の不思議を、
お金から考える。
(★★★★☆)

トリセツ・カラダ



(海堂尊／著 宝島社)

自分の体の中身がどうなっ
ているか、知っていますか？
カラダ地図を描けるよう
になろう！
(★★★★☆)

ビッグ・オーとの出会い



シェル・シルヴァスタイン／作
倉橋 由美子／絵
講談社)

一緒に転がっていける誰か
が現れるのを待っているか
けら。中学生や大人にこそ
読んでほしい絵本。
(★☆☆☆☆)

急行「北極号」



(クリス・ヴァン・オールズバーグ／作
村上 春樹／訳
あすなる書房)

クリスマスイブの不思議な
思い出。忘れていた小さな
頃の気持ちを思い出させて
くれます。
(★☆☆☆☆)